

JESg Vision 2030/中期経営計画2023-2025

公共インフラのサービスプラットフォーマーを目指して

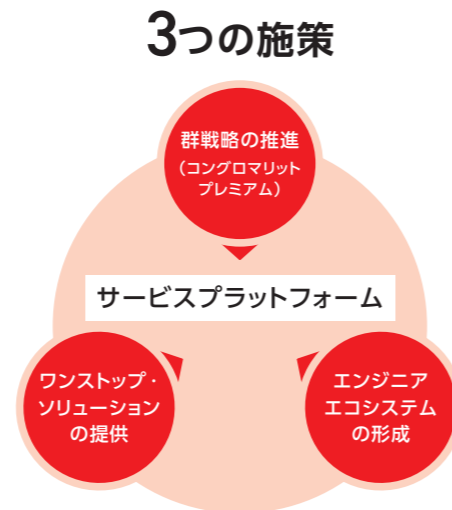
当社グループは2030年に目指す姿として、「公共インフラの維持・管理・DX化の事業領域におけるサービスプラットフォーマー」を掲げた長期ビジョン「JESg Vision 2030」を制定し、その実現に向けて3つの施策を推進しています。さらに今後3年間で取り組む具体的な内容を取りまとめた中期経営計画2023-2025を公表しています。

JESg Vision 2030の概要

2030年の目指す姿

公共インフラの維持・管理・DX化の事業領域におけるサービスプラットフォーマー

目指す姿を実現するため、3つの施策を推進しています。1点目の「群戦略の推進（コングロマリットプレミアム）」では、グループ内の複数の事業を自在に組み合わせ、事業セグメントの壁を超えた複数のサービスを同時に提供します。2点目の「ワンストップ・ソリューションの提供」では、公共インフラ関連業務において、企画・提案から現場での施工までの全領域に対応できる体制を構築します。3点目の「エンジニアエコシステムの形成」では、事業の枠を超えてエンジニアを機動的かつ柔軟に配置できる仕組みを構築します。



施策1 群戦略の推進 事業組織間連携により、複数サービスの同時提供（クロスセル等）

当社グループが手掛ける複数の事業を、お客様のニーズに合わせて自在に組み合わせ、事業セグメントの壁を超えたサービスを提供することによって、同業他社との競争優位性を確保します。公共サービス事業の空調衛生設備施工、交通インフラ事業の駐車場施工、環境事業の太陽光発電設備の施工を同時に提供した事例などが出てきています。複数サービスを同時に提供できる体制を拡充するために、組織間連携の推進を強化しています。

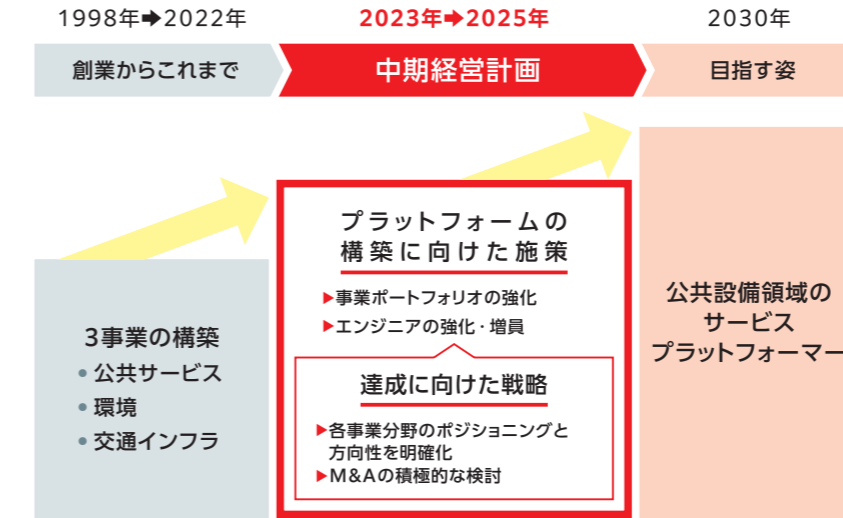
施策2 ワンストップ・ソリューションの提供 上流（企画・提案）～現場までの全領域に対応

公共インフラの維持・管理・DX化の事業領域において、新規事業開発、企画・提案といった上流工程から、プロジェクト組成・管理、実行に至るまでの工程をすべて当社グループで行う「ワンストップ・ソリューション」を提供します。当社グループは従来、下流工程を強みとしてきましたが、より収益性の高い上流工程にも注力することで高収益案件の受注拡大を図り、お客様にも発注業務の簡素化などの新たな価値を提供します。

施策3 エンジニアエコシステムの形成 状況に応じた事業間でのエンジニアの配置転換

事業間で共通する技術や資格を活かした人材育成によって、エンジニアを事業間で柔軟かつ機動的に配置転換できるような仕組みを構築します。具体的な取り組みとして、資格取得の奨励、技術承継のための時間の確保、ダイバーシティの推進、若手社員を対象とした配属ローテーションなどを推進します。労働力の確保が困難になる時代を見据え、生産性をさらに向上させるとともに、優秀な人材を確保し続けることができる労働環境・職場作りを目指します。

2030年の目指す姿と中期経営計画の位置付け



長期ビジョンである「JESg Vision 2030」の達成に向けて2023年度を初年度とする「中期経営計画2023-2025」を策定しました。創業から2022年度までは、現在の公共サービス事業、環境事業、交通インフラ事業という公共性の高い3事業の基盤を確立する段階でした。事業ポートフォリオの強化、エンジニアの強化・増員を進め、2030年に向けてさらなる成長を目指していきます。

中期経営計画の事業戦略

1 各事業分野のポジショニングと方向性の明確化



2 M&A案件の積極的な検討

専門性の高いエンジニアの獲得
高度な技術力を持ったエンジニアを獲得し、当社の推進するエンジニアエコシステムの強化につながります。

事業ポートフォリオの強化&拡大
既存事業のエンジニアリングの能力が活用可能で、シナジーが見込める事業は積極的に買収を推進します。

中期経営期間のM&A戦略投資枠 **30~50億円**※

※当社のM&A戦略に沿っており、当社プラットフォームの強化につながる案件が多い場合は超える可能性があります。

中期経営計画成長イメージ

2030年の売上目標を138億円以上とし、既存事業の成長とシナジーの高いM&Aの推進、さらに新規事業の開拓により高い成長率の実現を目指します。

